

【第3号議案】 平成26年度 事業報告

1. 利用状況

開館日	休館日	入館者総数	普及事業（講演会等） 参加者総数
292日／365日間	73日／365日間	7,818人	1,142人

2. 展示事業

① 常設展示

ケル	テーマ名	会期	開催日数	備考
前期	【新規】 新潟の女性たち（8名）	6/18(水) ～27/3/29(日)	232	瓜生繁子、杉本鉸子、川田芳子、吉屋信子、水島あやめ、小唄勝太郎、久保田きぬ子、大庭みな子
後期	【新規】 反骨の系譜（8名）	10/1(水) ～27/3/29(日)	145	竹内式部、生田萬、中村十作、内山愚童、平出修、北一輝、大杉栄、坂口安吾
通年	医学（8名）	4/8(火) ～27/3/29(日)	292	※平成25年度より継続展示 ※資料の展示替え：6月、9月、12月に実施
	美術（8名）			
	文学（8名）			
	文化勲章（9名）			
	文化功労者（10名）			
	人間国宝（5名）			

② 特別展示

I 「“白”の画家 富岡惣一郎」

会期	平成26年4月8日（火）～6月15日（日） 61日間		
主催	にいがた文化の記憶館		
広報媒体	チラシ（A4）13,000部、ポスター300部、ホームページ		
趣旨	富岡の没後20年を記念した、南魚沼市トミオカホワイト美術館との共同企画展示。富岡惣一郎の名を広く知ってもらうため、作品だけでなく、パレットナイフや絵具など22点を展示した。開催中に元館長の長谷部氏による作品解説会や館長講演を行った。		
関連事業	① 作品解説会「“白”の世界 作品解説 トミオカホワイト美術館元館長・長谷部昇氏を迎えて」 開催日：4月26日（土） 会場：にいがた文化の記憶館 講師：長谷部昇氏 ② 館長講演「富岡惣一郎の画業」 開催日：5月11日（日） 会場：メディアシップ6階 ナレッジルーム 講師：神林館長		
総括	○評価点 ・小規模ながら富岡惣一郎の画業を紹介できる内容であった。また、会期中に新潟日報連載「先人のふるさと」で富岡が掲載されたことから、告知も兼ねる結果となった。 ■検討課題 ・展示内容や点数以上のチラシを作成したため、来館者が大規模の展覧会だと誤解して来館するケースが複数あった。		
入場者数	1,142人（うち無料483人）	関連事業参加人数	①30人 ②25人
関連記事	4月9日（水） 新潟日報 朝刊「郷土の偉人一堂に 富岡惣一郎 鈴木牧之 特別展始まる」 4月26日（土） 新潟日報 朝刊「富岡惣一郎展できょう作品解説、新潟、講演会は11日」 5月5日（月） 新潟日報 朝刊「先人のふるさと 27 富岡惣一郎」		
担当	石垣 雅美		

I 「雪国の文人 鈴木牧之」

会期	平成26年4月8日（火）～6月15日（日） 61日間		
主催	にいがた文化の記憶館		

広報媒体	(※富岡惣一郎展に準ずる)		
趣 旨	「雪」をテーマに、鈴木牧之を紹介した併設展。鈴木牧之記念館等の資料 23 点を展示した。		
関連事業	なし		
総 括	○評価点 ・会期中に鑑賞に来た中学生などが興味深く見ていた。鈴木牧之は幅広い層に紹介できる文化人だと再認識し、次年度以降の企画の広がりにつながった。 ■検討課題 ・富岡惣一郎がメインとなったため、併せた広報が上手く展開できなかった。		
入場者数	(※富岡惣一郎展に準ずる)	関連事業参加人数	—
関連記事	4月9日(水) 新潟日報 朝刊「郷土の偉人一堂に 富岡惣一郎 鈴木牧之 特別展始まる」		
担 当	石垣 雅美		

II 「新潟の女性たち」

会 期	平成 26 年 6 月 18 日 (水) ～ 7 月 27 日 (日) 35 日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広報媒体	チラシ (A4) 10,000 部、ホームページ		
趣 旨	新規相関図「新潟の女性たち」初公開に合わせた特別展示。近代以降に活躍した新潟の女性たちの人脈を相関図で紹介した。本展ではその関連資料 45 点を展示し、ゆかりの品々から当時を振り返る。		
関連事業	① 講演会「日本の鉞子、世界の鉞子」 開催日：7月1日(火) 会場：メディアシップ 6 階 ナレッジルーム 講師：内田義雄氏 ② 月いちレクチャー「新潟の女性たち」 開催日：7月26日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：秋岡啓子		
総 括	○評価点 ・内田氏の講演会が好評で、定員を超過した。「新潟の女性たち」というテーマが相関図と合わせて好評だった。 ■検討課題 ・準備が遅く、展示開始日に資料が揃わなかった。		
入場者数	677 人 (うち無料 302 人)	関連事業参加人数	①90 人 ②11 人
関連記事	6月21日(土) 新潟日報 朝刊「評伝『鉞子』著者内田さん講演」 6月30日(月) 新潟日報 朝刊「先人のふるさと 31 杉本鉞子」 7月2日(水) 新潟日報 朝刊「『武士の娘』の精神 今に 新潟 杉本鉞子を学ぶ講演会」 7月3日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?!この人 <1> 小唄勝太郎」		
担 当	秋岡 啓子		

III 「渡邊義雄 大和古寺」

会 期	平成 26 年 8 月 1 日 (金) ～ 9 月 28 日 (日) 61 日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広報媒体	チラシ (A4) 3,830 部、ホームページ		
趣 旨	併設展である會津八一記念館の特別展「會津八一の奈良 ～歌集『鹿鳴集』の世界～」にあわせて、三条市出身の写真家であり文化功労者の渡邊義雄の奈良古寺の作品を三条市歴史民俗産業資料館の所蔵品 8 点を借用して展示した。		
関連事業	① 月いちレクチャー「渡邊義雄」 開催日：9月27日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：石垣雅美		
総 括	○評価点 ・8 点だけの展示であったが、併設した「會津八一の奈良」と併せて見てもらうことで、渡邊義雄の業績を奈良古寺を通じて紹介できた。 ■検討課題 ・前年度より資料調査をするなどしていたが、直前での準備が遅くなった。		
入場者数	4,103 人 (うち無料 1,642 人)	関連事業参加人数	①7 人
関連記事	7月31日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <5> 渡邊義雄」		
担 当	石垣 雅美		

IV-1 「平出修とその周辺」

会 期	平成 26 年 10 月 1 日 (水) ～ 10 月 30 日 (木) 26 日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		

広報媒体	チラシ (A4) 8,000部、ホームページ		
趣 旨	新規相関図「反骨の系譜」公開に合わせ、大逆事件を担当した弁護士で、明星派の歌人・評論家としても活躍した新潟市出身の平出修の没後 100 年を記念した特別展示。ご遺族から借用した平出修宛での直筆書簡など 30 点を展示した。開催中は館長講演や月いちレクチャーを行った。		
関連事業	① 館長講演「反骨の系譜 北一輝と大杉栄」 開催日：10月12日(日) 会場：メディアシップ2階 日報ホール 講師：神林館長 ② 月いちレクチャー「反骨の系譜」 開催日：10月25日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：秋岡啓子		
総 括	○評価点 ・前年度にご来館された平出修ご遺族から、2014年が没後100年にあたると聞いて企画していた展示を実現することができた。また、石山地区公民館・平出修没後100周年事業実行委員会主催の連続講座に参加し、情報交換することができた。展示に関しては、ご遺族から協力を得て、当時の書簡など貴重な資料を借用することができた。 ■検討課題 ・展示物の確定が遅く、チラシに出品リストを掲載できなかった。そのため、貴重な資料を展示していることが伝わらなかった。10月23日に展示物を紹介する記事を見て、来館する人がいた。		
入場者数	430人(うち無料307人)	関連事業参加人数	①57人 ②15人
関連記事	9月28日(日) 新潟日報 朝刊「にいがた文化の記憶館館長講演『反骨の系譜 北一輝と大杉栄』(メディアシップマンスリー 10月の館内イベント)」 10月1日(水) 新潟日報 朝刊「北一輝と大杉栄 反骨の県人と風土探る講演」 10月2日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <14> 平出修」 10月23日(木) 新潟日報 朝刊「歌人 平出修とその周辺 幅広い人脈 書簡で紹介 (ミュージアムへようこそ)」		
担 当	秋岡 啓子		

IV-2 「酒に学ぶ・坂口謹一郎と川上善兵衛」

会 期	平成26年11月1日(土)～11月30日(日) 26日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広報媒体	チラシ (A4) 6,000部、ホームページ		
趣 旨	坂口謹一郎博士顕彰会などによる出張展示。坂口謹一郎博士の顕彰にあたり、博士と親交が深く、「日本ワイン葡萄の父」といわれた川上善兵衛が、平成26年で没後70年を迎えることから、平成26年5月に上越で開催された企画展に引き続き、坂口謹一郎博士のことを市外の人々にも広く知ってもらおう機会とする。また、会期を「新潟日報メディアシップ アートコミュニケーション」に合わせて設定し、相乗効果によって広く事業の周知を図るとともに、企画展への来場者数増を期待する。		
関連事業	① アートコミュニケーション2014 メディアシップ×にいがた文化の記憶館「日本ワインぶどうの父・川上善兵衛と坂口謹一郎 ワイン&トーク」 開催日：11月8日(土)～9日(日) 会場：メディアシップ20階 そらの広場 講師：棚橋博史氏(株式会社岩の原葡萄園代表取締役社長) 協力：株式会社岩の原葡萄園 ② 月いちレクチャー「川上善兵衛」 開催日：11月22日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：石垣雅美		
総 括	○評価点 ・貸館による出張展示であったが、平成25年度の坂口謹一郎展からさらに一步踏み込んだテーマで坂口と川上善兵衛を紹介できた。イベントでは定員には満たなかったが参加者の満足度が高いイベントとなった。 ■検討課題 ・ウィスキーづくりをテーマとしたテレビドラマが人気を博していたが、それに合わせるような形での広報計画が立てることができなかった。		
入場者数	292人(うち無料171人)	関連事業参加人数	①79人 ②3人
関連記事	10月26日(日) 新潟日報 朝刊「メディアシップ イベントカレンダー11月」 10月30日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! <18> 坂口謹一郎」 11月1日(月) 新潟日報 朝刊「酒テーマに特別展 文化の記憶館きょうから」 11月6日(木) 新潟日報 夕刊「メディアシップウィークリー 館内イベント」 11月7日(金) 新潟日報 朝刊「今週のメディアシップ イベント紹介」 11月9日(月) 新潟日報 朝刊 話かご(ワイン&トーク取材記事)		
担 当	石垣 雅美		

IV-3 「終戦を促した祖国愛 米軍将校と日本兵捕虜」

会 期	平成26年10月7日(火)～12月14日(日) 60日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広 報 媒 体	チラシ(A4) 1,000部、ホームページ		
趣 旨	第38回新聞大会に併せた展示。紹介文人であるドナルド・キーンとオーティス・ケーリ、新潟日報社元社長・小柳胖氏らとの交流を相関図とともに資料21点を紹介した。		
関 連 事 業	なし		
総 括	○評価点 ・開催の数か月前に相談を受けての企画であったが、相関図や借用および所蔵資料などを含めた紹介ができた。会期中は新聞大会の講師ドナルド・キーン氏や大会参加者(県外)が来館し、鑑賞した。本展示で、多くの方に記憶館を知ってもらう機会を得た。 ■検討課題 ・展示準備に追われて、広報計画を立てることができなかった。		
入 場 者 数	791人(うち無料519人)	関 連 事 業 参 加 人 数	—
関 連 記 事	10月15日(水) 新潟日報 朝刊「新潟・文化の記憶館 終戦への思いにキーンさん感慨」		
担 当	武藤 斌、石垣 雅美		

V 「富士を写す—岡田紅陽から横山操まで—」

会 期	平成26年12月3日(火)～平成27年1月12日(日) 30日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広 報 媒 体	チラシ(A4) 5,166部、ホームページ		
趣 旨	新潟日報社の新春三大美術展開催時期にあわせた企画。また26年夏に富士山が世界遺産に登録されたことを記念して、記憶館で紹介している文化人を中心に、彼らが写した富士山を紹介した。		
関 連 事 業	① 月いちレクチャー「富士を写す 作品解説会」 開催日：1月10日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：石垣雅美		
総 括	○評価点 ・「富士山」がテーマであったので、短期間の展示であったが多くの来館者があつた。割引券付きチラシの設置や新春展割引の設定により新春展鑑賞者が本展を見に来るケースが見られた。 ■検討課題 ・展示準備やチラシ作成が遅れてしまい、会期が始まっても、一部の展示作品が展示できない状態であった。		
入 場 者 数	405人(うち無料180人)	関 連 事 業 参 加 人 数	①16人
関 連 記 事	12月10日(水) 新潟日報 朝刊「偉人が描く富士の美 にいがた文化の記憶館」 12月11日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <24> 岡田紅陽」 12月25日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <26> 横山操」 1月6日(火) 新潟日報 朝刊「展覧会へようこそ 富士を写す(にいがた文化の記憶館)」 1月8日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <27> 吉田東伍」		
担 当	石垣 雅美		

VI 「二人の詩人 堀口大學と西脇順三郎」

会 期	平成27年1月17日(土)～3月29日(日) 62日間		
主 催	にいがた文化の記憶館		
広 報 媒 体	チラシ(A4) 8,000部、ホームページ		
趣 旨	西脇の生誕120年にあたり、堀口大學との二人展を企画した。本展では「詩」「美術」をテーマに堀口と西脇の創作世界を詩や資料など 点で紹介した。		
関 連 事 業	① 月いちレクチャー「西脇順三郎」 開催日：1月24日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：石垣雅美 ② 月いちレクチャー「堀口大學」 開催日：3月21日(土) 会場：にいがた文化の記憶館 担当：秋岡啓子		
総 括	○評価点 ・これまでは文化人ひとりを取り上げたりしたが、本展では共通点の多い堀口と西脇を「詩」「美術」というテーマから紹介した。 ■検討課題 ・チラシやホームページへの情報掲載が遅かったため、事前の広報ができなかった。		
入 場 者 数	759人(うち無料329人)	関 連 事 業 参 加 人 数	①14人 ②12人
関 連 記 事	1月15日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <28> 西脇順三郎」		

	2月19日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <33> 堀口大學」 3月7日(土) 新潟日報 朝刊 展覧会へようこそ「二人の詩人 堀口大學と西脇順三郎(にいがた文化の記憶館)」 3月26日(木) 新潟日報 夕刊「知ってる?! この人 <38> 堀口九萬一」
担当	秋岡 啓子、石垣 雅美

3. 教育普及事業

① 常設展示関連事業 (参加者総数: 118人)

ケル	事業名	開催日	内容	参加人数
I	月いちレクチャー「新潟の医学」	5/24(土)	担当: 秋岡 啓子	1人
	月いちレクチャー「近代医学と新潟人」	6/28(土)	担当: 秋岡 啓子	9人
II	月いちレクチャー「新潟の女性」	7/26(土)	担当: 秋岡 啓子	11人
III	月いちレクチャー「會津八一」	8/23(土)	ゲスト: 喜嶋奈津代(會津八一記念館学芸員)、担当: 石垣 雅美	19人
	月いちレクチャー「渡邊義雄」	9/27(土)	担当: 石垣 雅美	7人
IV	月いちレクチャー「反骨の系譜」	10/25(土)	担当: 秋岡 啓子	19人
	月いちレクチャー「川上善兵衛」	11/22(土)	担当: 石垣 雅美	3人
V	月いちレクチャー「富士を写す 作品解説会」	1/10(土)	担当: 石垣 雅美	16人
VI	月いちレクチャー「西脇順三郎」	1/24(土)	担当: 石垣 雅美	14人
	月いちレクチャー「坂口安吾」	2/28(土)	担当: 石垣 雅美	7人
	月いちレクチャー「堀口大學」	3/21(土)	担当: 秋岡 啓子	12人

② 特別展示関連事業 (参加者総数: 506人)

ケル	事業名	開催日	内容	参加者数
I	作品解説会「“白”の世界 作品解説—トミオカホワイト美術館元館長 長谷部昇氏を迎えて—」	4/26(土)	講師: 長谷部昇氏(南魚沼市トミオカホワイト美術館元館長) 会場: にいがた文化の記憶館	30人
	講演会「富岡惣一郎の画業」	5/11(日)	講師: 神林館長 会場: メディアシップ 6階 ナレッジルーム	25人
II	講座「日本の鉞子、世界の鉞子」	7/1(火)	講師: 内田義雄氏(『鉞子 世界を魅了した「武士の娘」の生涯』著者) 会場: メディアシップ 6階 ナレッジルーム	90人
IV	講演会「反逆の系譜—北一輝と大杉栄—」	10/12(日)	講師: 神林館長 会場: メディアシップ 2階 日報ホール	57人
	アートコミュニケーション 2014 メディアシップ × にいがた文化の記憶館「日本ワインぶどうの父・川上善兵衛と坂口謹一郎 ワイン&トーク」	11/7(土) ~ 11/8(日)	講師: 棚橋博史氏(株式会社岩の原葡萄園 代表取締役社長) 会場: メディアシップ 20階 そらの広場 内容: 講演とワインテイasting	70人 (両日合計)

③ その他事業 (著述活動、講演会など)

■ 著述活動

NO.	タイトル・掲載時期	掲載日	内容	執筆者
1	小川未明文学館館報 vol.8 『日本のアンデルセン 小川未明』展によせて	5月	出張展示「日本のアンデルセン 小川未明」展の開催までについて	石垣 雅美
2	ホクゲン Monthly 2014年6月号 窓 「『にいがた文化』とは」	6月	にいがた文化およびにいがた文化の記憶館について	神林館長
3	佐渡郷土文化 第135号 寄稿「佐渡と蹴鞠」	6月	25年度特別展示「蹴鞠の装束展」出展の山本家所蔵・蹴鞠鳴沓の免状について	秋岡 啓子
4	新潟日報夕刊連載(38回連載) 「にいがた文化の記憶館 知ってる?!この人」	7/3 ~ 3/26	小唄勝太郎、吉屋信子、久保田きぬ子、水島あやめ、渡邊義雄、司馬凌海、會津八一、三輪晃勢、鈴木虎雄、藤蔭静樹、小林古径、長谷川泰、坂口安吾、平出修、小川未明、	秋岡 啓子 石垣 雅美

			大倉喜八郎、矢部友衛、坂口謹一郎、尾台榕堂、長谷川海太郎、巻菱湖、前島密、平澤興、岡田紅陽、大杉栄、横山操、吉田東伍、西脇順三郎、川田芳子、青山杉作、小金井良精、宮柗二、堀口大學、小川亮作、亀倉雄策、佐々木象堂、杉本鉞子、堀口九萬一（掲載順）	
5	新潟日報 10面「ミュージアムへようこそ」 寄稿「歌人 平出修とその周辺」	10 / 23	開催中の特別展示「歌人 平出修とその周辺」の紹介	秋岡 啓子
6	新潟日報 11面「展覧会へようこそ」 寄稿「富士を写す 画家、文人のモチーフに」	1 / 6	開催中の特別展示「富士を写す」の紹介	石垣 雅美
7	新潟日報 13面「展覧会へようこそ」 寄稿「二人の詩人 堀口大學と西脇順三郎 美術 通し創作世界を紹介」	3 / 7	開催中の特別展示「二人の詩人 堀口大學 と西脇順三郎」の紹介	秋岡 啓子
8	ホクギン Monthly 2015年3月号 越後人物館めぐり 第20回 にいがた文化の記憶館	3月	にいがた文化の記憶館の紹介	神林館長

■ 講演活動（参加者総数：872人）

No.	事業名	開催日	内容	参加者数
1	新潟キワニスクラブ 第330回例会 講演「郷土の偉人とにいがた文化の記憶館」	4 / 16 (水)	講師：武藤事務局長 会場：ANA クラウン プラザ ホテル新潟	30人
2	新潟ロータリークラブ 5月 第1例会 会卓話「新潟の文化的土壌」	5 / 13 (火)	講師：武藤事務局長 会場：ホテル・イタリア軒	77人
3	新潟ランチ同友会 6月例会 講演「新潟の文化を支えた人たち」	6 / 3 (火)	講師：神林館長 会場：ホテル日航新潟	50人
4	新潟経済同友会 20周年記念行事 シンポジウム「小川未明と『児童』文学」	7 / 18 (金)	登壇：神林館長ほか 会場：朱鷺メッセ	450人
5	小川未明文学館 講演「小川未明と『児童』文学」	10 / 13 (月・祝)	講師：神林館長 会場：高田市立図書館	25人
6	十日町市議会主催 まちづくり講演会 「日本文化をになった新潟人」	11 / 17 (月)	講師：武藤事務局長 会場：クロス 10	120人
7	金津コミュニティ振興協議会設立10周年記念式典 第二部 講演会「新潟の文化と新津」	11 / 30 (日)	講師：神林館長 会場：金津地区コミュニティセンター	45人

④副読本

書名	『みんなで伝えよう にいがた文化の記憶』
対象	中学1～2年生
コンセプト	近現代日本の文化をつくった新潟ゆかりの人物を学ぶ
採り上げる文化人 (109名、五十音順)	藍澤南城、會津八一、青野季吉、青山杉作、赤沢鍾美、浅島誠、天田昭次、池田謙斎、池田恒雄、石黒忠憲、石田名香雄、石田吉貞、石塚三郎、市島謙吉、伊藤誠哉、伊藤赤水、井上圓了、入澤達吉、岩田正巳、内山賢次、瓜生繁子、遠藤実、大倉喜八郎、大杉栄、大庭みな子、大橋佐平、岡倉天心、岡田紅陽、小川未明、小川亮作、荻野久作、小田嶽夫、尾台榕堂、尾竹竹坡、小野塚喜平次、小柳司氣太、桂湖村、金子健二、金子彦二郎、亀倉雄策、川上善兵衛、川田芳子、北一輝、久保田きぬ子、倉石武四郎、小池和男、小唄勝太郎、小金井良精、小林古径、小林虎三郎、小山作之助、小山正太郎、近藤喜文、坂口安吾、坂口謹一郎、坂口仁一郎、佐々木象堂、式場隆三郎、司馬凌海、清水司、杉本鉞子、鈴木虎雄、鈴木文臺、鈴木牧之、関野貞、相馬御風、高橋誠一郎、建部遯吾、田中耕太郎、田中美知太郎、玉川宣夫、土田杏村、土田麦僊、富岡惣一郎、中田瑞穂、中村十作、並河成資、西脇順三郎、長谷川海太郎、長谷川泰、長谷川巳之吉、原久一郎、平出修、平澤興、露谷虹児、藤蔭静樹、星野恒、堀口大學、前島密、巻菱湖、増田義一、益田孝、増村朴斎、松岡譲、三浦小平二、水島あやめ、三波春夫、宮柗二、三輪晁勢、諸橋徹次、屋井先蔵、山岡莊八、山本悌二郎、横山操、吉田東伍、吉屋信子、良寛、鷲尾雨工、渡邊義雄

4. 連携・交流事業

① にいがた文化ネットワーク協議会の開催

項目	内容
第 2 回 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時（予定）：平成 25 年 8 月 25 日（月）午後 2 時～5 時 ・会場（予定）：メディアシップ 6 階 ナレッジルーム A ・議題（案）：平成 25 年度事業報告および平成 26 年の事業計画 にいがたネットワーク協議会運営、協力体制について 會津八一記念館および当館の特別展の見学など
参加館への展示補助	<ul style="list-style-type: none"> ・「白」の画家 富岡惣一郎 トミオカホワイト美術館 ・「雪国の文人 鈴木牧之」鈴木牧之記念館（ともに会期：4 月 8 日～6 月 15 日） ・「酒に学ぶ・坂口謹一郎と川上善兵衛」（会期：11 月 1 日～11 月 30 日）
機 関 誌 の 発 行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行予定：平成 27 年度 6 月 ・内容：巻頭特集ページ及びイベントスケジュールを含む。

5. 調査及び研究・研修事業

■ 講義など

講義名	日時	内容	担当者
新潟大学 地域文化論 「日本文化 を支えた新 潟人」	10 / 3 (金)	新潟の歴史とその文化的土壌	武藤事務局長
	10 / 10 (金)	越後の自由民権運動	武藤事務局長
	10 / 17 (金)	市島謙吉と新潟の新聞界	武藤事務局長
	10 / 24 (金)	明治美術界の双璧 小山正太郎と岡倉天心	神林館長
	10 / 31 (金)	宮古島人頭税と中村十作	武藤事務局長
	11 / 14 (金)	新潟の女性たち	秋岡 啓子
	11 / 28 (金)	日本画の巨匠たち 小林古径と土田麦僊	神林館長
	12 / 5 (金)	野口英世を支えた歯科医師 石倉三郎	武藤事務局長
	12 / 12 (金)	良寛禅師の発見者 會津八一と相馬御風	喜嶋 奈津代（會津八一記念館学芸員）
	12 / 19 (金)	医学と医術あるいは医師と医者	神林館長
	1 / 9 (金)	越後の私塾と漢学の伝統	神林館長
	1 / 23 (金)	反骨の系譜 北一輝と大杉栄	神林館長
	1 / 30 (金)	坂口安吾と新潟の文学者たち	石垣 雅美
	2 / 6 (金)	戦時下の上越文化	湯浅 健次郎（會津八一記念館学芸員）
2 / 13 (金)	総まとめと試験	武藤事務局長	

■ 研修

No.	研修名	研修日	参加者
1	平成 26 年度 著作権セミナー	8 / 8 (金)	秋岡 啓子
2	新潟日報主催 こども新聞大会「Dream Work」	9 / 27 (土)	秋岡 啓子
3	公益財団法人・財団法人の立入検査の対応セミナー	10 / 9 (木)	外山 陽子
4	新潟県博物館協議会「平成 26 年度学芸員等職員研修会」	11 / 26 (水) ～ 11 / 27 (木)	秋岡 啓子
5	平成 26 年度「歴史資料保存活用専門研修会」	12 / 5 (金)	秋岡 啓子

6. 広報

① 新聞掲載記事一覧（特別展示関連記事）

No	掲載紙名	掲載日	見出し	執筆者等
1	新潟日報	4 / 9 (水)	「郷土の偉人一堂に 富岡惣一郎 鈴木牧之 特別展始まる」	—
2	新潟日報	4 / 26 (土)	「富岡惣一郎展できょう作品解説 新潟、講演会は 11 日」	—
3	新潟日報	5 / 5 (月)	「先人のふるさと 27 富岡惣一郎」	—
4	新潟日報	6 / 21 (土)	「評伝「鉞子」著者内田さん講演会」	—

5	新潟日報	6/26(木)	「本県ゆかりの文化人を解説 新潟、28日から月1回」	—
6	新潟日報	6/30(土)	「先人のふるさと 31 杉本鉞子」	—
7	新潟日報	7/2(月)	『武士の娘』の精神 今に 新潟 杉本鉞子を学ぶ講演会」	—
8	新潟日報 夕刊	7/3(火)	「知ってる?!この人<1>小唄勝太郎」	石垣 雅美
9	新潟日報 夕刊	7/10(火)	「知ってる?!この人<2>吉屋信子」	秋岡 啓子
10	新潟日報	7/17(木)	「本県女性の足跡紹介 文化の記憶館で特別展」	—
11	新潟日報	7/21(月)	「先人のふるさと 32 大庭みな子」	—
12	新潟日報 夕刊	7/31(木)	「知ってる?!この人<5>渡辺義雄」	石垣 雅美
13	新潟日報	8/1(金)	「“心” 込めた書並ぶ きょうから色紙販売展」	—
14	新潟日報	9/28(土)	「にいがた文化の記憶館館長講演「反骨の系譜 北一輝と大杉栄」(メディアシップマンスリー 10月の館内イベント)」	—
15	新潟日報	10/1(水)	「北一輝と大杉栄 反骨の県人と風土探る講演」	—
16	新潟日報 夕刊	10/2(木)	「知ってる?!この人<14>平出修」	秋岡 啓子
17	新潟日報	10/15(水)	「新潟・文化の記憶館 終戦への思いにキーンさん感慨」	—
18	新潟日報 文化欄	10/23(木)	ミュージアムへようこそ「歌人 平出修とその周辺 幅広い人脈 書簡で紹介」	秋岡 啓子
19	新潟日報 夕刊	10/26(日)	「メディアシップ イベントカレンダー11月」	—
20	新潟日報 夕刊	10/30(木)	「知ってる!?!この人<18>坂口謹一郎」	秋岡 啓子
21	新潟日報	11/1(金)	「酒テーマに特別展 文化の記憶館きょうから」	—
22	新潟日報	11/6(木)	「メディアシップウィークリー 館内イベント」	—
23	新潟日報	11/7(金)	「今週のメディアシップ イベント紹介」	—
24	新潟日報	11/9(月)	話かご (ワイン&トーク取材記事)	—
25	新潟日報	12/10(水)	「偉人が描く 富士の美 にいがた文化の記憶館」	—
26	新潟日報 夕刊	12/11(木)	「知ってる?!この人<24>岡田紅陽」	秋岡 啓子
27	新潟日報 夕刊	12/25(木)	「知ってる?!この人<26>横山操」	秋岡 啓子
28	新潟日報 文化欄	1/6(火)	「展覧会へようこそ「富士を写す (にいがた文化の記憶館)」	石垣 雅美
29	新潟日報 夕刊	1/8(木)	「知ってる?!この人<27>吉田東伍」	石垣 雅美
30	新潟日報 夕刊	1/15(木)	「知ってる?!この人<28>西脇順三郎」	秋岡 啓子
31	新潟日報 夕刊	2/19(木)	「知ってる?!この人<33>堀口大學」	石垣 雅美
32	新潟日報 文化欄	3/7(土)	「展覧会へようこそ「二人の詩人 堀口大學と西脇順三郎」	秋岡 啓子
33	新潟日報 夕刊	3/26(木)	「知ってる?!この人<38>堀口九萬一」	秋岡 啓子

※新潟日報夕刊「知ってる?この人」は7月3日(木)～3月26日(木)の連載(38回)を学芸員2人が執筆。

※新潟日報朝刊(毎水曜)「パスポート会員募集」と顕彰人物紹介

② テレビ・ラジオ放送一覧

No	局名	放送日	番組名	内容
1	BSN 新潟放送	11/1(土)	ダイばん!	「日本ワインぶどうの父・川上善兵衛と坂口謹一郎 ワイン&トーク」告知
2	FM PORT	12/15(月)	モーニングゲート	「富士を写す—岡田紅陽から横山操まで—」展紹介
3	BSN 新潟放送	1/7(水)	Nスタ	「富士を写す—岡田紅陽から横山操まで—」展紹介

③ パスポート会員募集広告掲載一覧

掲載紙名	新潟日報 地域欄
掲載日	毎水曜日(掲載期間:平成26年4月2日～平成27年3月25日)
掲載した文化人(45人、掲載順)	関屋俊彦、鈴木牧之、富岡惣一郎、田中道久、館柳湾、牧野虎雄、岡倉天心、斎藤正直、笹岡了一、阿部展也、小野末、大倉喜八郎、堀口九萬一、吉田千秋、杉本鉞子、大庭みな子、村田文蔵、佐藤哲三、土田杏村、瀧澤美恵子、建部遯吾、三波春夫、吉屋信子、坂口仁一郎、瓜生繁子、山本悌二郎、木田元、網淵謙錠、長谷川天溪、敦井榮吉、鳥居敏文、平出修、松岡譲、宮田藍堂(2代)、竹内式部、佐藤哲三郎、増田義一、渡邊萬寿太郎、西脇順三郎、堀口大學、尾竹竹坡、桑原実、中村琢二、尾竹国観、竹谷富士雄

7. 事業別評価

事業名		評価点 (○)	改善点 (▲)・今後の課題 (■)
展 示	常 設 展 示 (相 関 図)	○関連資料展示を年度内に 4 回展示替えをできたことで資料保存および展示空間のマイナーチェンジができた。 ○一日数回の温湿度点検により、展示環境の維持に意識を向けることができた。	▲資料の展示替えを年 2 回から 4 回に増やした。 ■昨年度同様、展示資料が変わったことが分かるような展示プランを立てること、年度毎の展示計画を立てることで、来館者が繰り返し鑑賞できる工夫が必要である。
	特 別 展 示	○年間パスポート制度の開始にあたり、年 6 回展示替えをすることで、展示替え毎に鑑賞して下さるお客様が見受けられる。 ○南魚沼市や上越市などの出張展示が出来たことで、県内顕彰館との連携の在り方を第一歩が踏み出した。	▲県内顕彰館および顕彰団体との共同企画点を継続することができた。引き続き、連携できる仕組みを模索していきたい。 ■昨年度は広報戦略の必要性を挙げたが、26 年度は展示、広報の準備が遅れたため、前年度末までには次年度の年間広報計画を立てる必要がある。
教 育 普 及	イ ベ ン ト、 講 演 ・ 解 説	○26 年度から始めた「月いちレクチャー」に少人数だがリピーターが見受けられる。	▲単発事業の他に、定期的な解説会を加えた。 ■広報が遅れていたため、参加者の応募状況が芳しくなかった。27 年度は早めの企画による広報戦略が課題となる。 ■新潟日報メディアシップと連携したイベントを企画し、パイロット事業として仕組みを作り上げていくことが課題である。
	顕 彰 館 ・ 団 体 与 の 連 携	○各団体よりパンフレット設置、画像提供等での協力を得た。 ○当館での出張展示をきっかけに顕彰施設職員の意識が変わって来たとの意見をいただいた。 ○ネットワーク協議会を通じて交流することで、顔の見える交流ができるようになってきた。	▲26 年度に新たに参加して下さる顕彰団体などがあった。 ■25、26 年度の事業計画案に機関誌「にいがた文化」(仮称)の発行を挙げていたが、年度内に納品できていない。 ■8 月の開催後は顕彰館・団体との全体的なネットワークを図ることが出来なかったため、2 年目は連携を図るための発信が課題である。
	副 読 本	○新潟県教育庁および新潟日报社の協力により、26 年度内に関係者を含めた編成会議を設け、副読本の編集をすすめることができた。	■26 年度中に校了とならなかった。少人数ゆえのスケジュール管理が必要である。 ■平成 27 年度の活用に向けた、小・中学生の入館者数増加を目指すための仕組みづくりが課題。
	人 物 選 定 委 員 会	○お客様からの選定のご意見を集約し、選定委員会に備えている。	■25、26 年度の事業計画に挙がっているが、委員会発足までに至らなかった。27 年度以降の発足、選定を目指して準備を進める。
調 査 ・ 研 究	○学芸および事務業務にかかる研修に参加したことで業務を遂行しやすくなった。 ○研修により、他館の学芸員や職員との交流をすすめることができた。	▲文化人を調査し、データを蓄積するまではできなかったことが課題である。	
広 報	○県内の文化施設やギャラリー、図書館、観光関連施設、またメディアシップ内で行われるイベント等にポスター、チラシを設置してもらうことで幅広い層にアピールできた。 ○新潟日報夕刊で「知ってる?! この人」を連載することで、展示やイベントとタイアップした広報計画を立案できるようになってきた。	▲26 年度初めにホームページをリニューアルできた。 ■予算が限られている中での広報戦略の見直しが必要。 ■チラシやポスター、ホームページなど発信し続けることによる活動状況を普及させることが課題である。	

【参考資料】 ◇主な来館者（来館順に掲載）

<p>個人・団体 （行政・企業等）</p>	<p>〔4月〕 織の文化館・塩沢つむぎ館・南雲館長、高田文化協会・河村事務局長、燕市・鈴木市長、新潟市企業立地課、新潟県立図書館・桑原館長、上村副館長、新潟県東京事務所・萬歳所長代理、山本修巳氏、南魚沼市トミオカホワイト美術館・長谷部元館長、西潟館長、大塚係長、新潟三越伊勢丹ホールディングス</p> <p>〔5月〕 平出修研究会、長岡戦災資料館</p> <p>〔6月〕 新潟県共同募金会・丸山常務理事、北野大氏、新潟薬科大・及川名誉教授、斑鳩町長夫人</p> <p>〔7月〕 信濃毎日新聞上越支局・桜井局長、内田義雄氏、堀口大學を語る会・佐藤会長、新潟経済同友会、長岡高校記念資料館・岡村氏、雪国館・貝瀬館長、糸魚川市・米田市長、全国良寛会理事・涌井茂氏、石黒寿美氏、杉本鉞子研究会・樋口敬子氏</p> <p>〔8月〕 有馬頼底猊下、森本公誠師、泉田宗健師、石田智圓師、大野玄妙師、多川俊映師、日野西光専門跡、山田法胤師、新潟市・山口副市長、オーティス・ケリー氏ご遺族、新潟市中央区・高橋区長、ネットワーク協議会 18 施設・団体の皆様、日本製紙</p> <p>〔9月〕 三条市、薬師寺管主・山田法胤師</p> <p>〔10月〕 大正大学表現学部・小島部長、人間学部・白木准教授、教育開発センター・北条特命教授、親鸞となむの大地展実行委員会・廣澤実行副委員長、富澤事務局長、ドナルド・キーン氏、キーン誠巳氏、全国良寛会・平出評議員、金津コミュニティ協議会・渡辺会長、石沢副会長</p> <p>〔11月〕 みや通信、岩の原葡萄園・棚橋社長、岡本部長、シャープニュース編集室・湊祐美子氏、坂井孝雄氏</p> <p>〔12月〕 新潟県・花角副知事、サントリーHD、新潟県教育庁文化行政課・斎藤課長、阿賀野市立吉田東伍記念博物館・渡辺館長</p> <p>〔1月〕 観世流・山階弥次氏、上越市文化振興課・山田課長</p> <p>〔2月〕 信濃毎日新聞上越支局・桜井局長、キッコーマン、奈良石工・左野勝司氏</p> <p>〔3月〕 天領の里・三輪館長、全国良寛会・加藤副会長、新潟良寛会・柳本会長</p>
<p>ご遺族</p>	<p>笹岡了一遺族、関屋俊彦ご遺族、平出修ご遺族、遠藤実ご遺族、蒔谷虹児ご遺族、渡邊寿太郎ご遺族、佐藤哲三郎ご遺族</p>
<p>団体観覧 （一般）</p>	<p>〔5月〕 新潟高校クラス会 16 名</p> <p>〔6月〕 聖籠町短歌会 13 名</p> <p>〔7月〕 五泉市消費者協会 20 名</p> <p>〔9月〕 三条市 20 名、いきなクラブ 14 名、秋葉区こがね町自治会 20 名、フカミ美術 46 名</p> <p>〔10月〕 地方紙白水会 11 名、新聞大会参加者 49 名、NHK 学園 13 名、すばるワークセンター 37 名</p> <p>〔1月〕 フカミ美術・NIC 上越 19 名</p> <p>〔3月〕 小千谷市図書館一行 41 名、十日町市議団 9 名</p>
<p>団体観覧 （学校）</p>	<p>〔4月〕 新潟市立小合中学校 16 名、村上市立岩船中学校 8 名、三条市立大崎小学校 45 名、長岡市立長岡西中学校 9 名</p> <p>〔5月〕 小千谷市立片貝中学校 24 名、新潟大学教育学部附属新潟小学校 10 名、三条市立第一中学校 10 名、新潟市立白井中学校 39 名、福島県裏磐梯中学校 5 名、阿賀野市立安田中学校 9 名、新潟市立上山中学校 5 名、燕市立分水中学校 19 名</p> <p>〔6月〕 加茂市立加茂中学校 10 名、長岡聾学校</p> <p>〔9月〕 新潟市立大形小学校 11 名、新発田市立猿橋中学校 1 年生 34 名、</p> <p>〔11月〕 新潟聾学校 10 名、新潟市立濁川小学校 6 名、新潟市立中之口中学 5 名</p> <p>〔12月〕 新潟市立木戸小学校 10 名</p> <p>〔2月〕 江南高等特別支援学校 12 名、新潟市立新潟小学校 5 年生 43 名</p>